

令和 2 年度・令和 3 年度

三鷹市在宅医療・介護連携推進事業
報告書

令和 4 年 3 月

三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会

目次

1	三鷹市の在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況	1
2	三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会	4
3	検討部会	6
4	連携窓口みたか	14
5	在宅療養者の後方支援病床利用事業	
17		
6	資源調査	19
7	市民啓発	22
8	医療・介護関係者の研修	24
9	協議会委員及び検討部会委員	27

1 三鷹市の在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況

取り組むべき 8項目	平成29年度までの取組	平成30年度取組	令和元年度取組	令和元年度取組に対する評価と 課題
ア	・「介護サービス事業者ガイドブック」と「三鷹市医療マップ」の作成と配布		→	・「介護サービス事業者ガイドブック」は、R元年9月改訂版発行。 ・医療マップ(紙製)は、健康推進課作成の「健康ガイドみたか」等別媒体があるため、作成しない。
の 地 把 域 握 医 療 ・ 介 護 資 源	・訪問診療(往診含む。)医療機関への実態調査(聞き取り調査)		・新設の機関や訪問看護について訪問聞き取り調査の実施	・新設の医療機関については実施。訪問看護については、同様の調査があったため、そちらを活用。
	・医療機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局)の把握及び資源データのリスト化	→	・調査データ及び実態把握したデータの活用方法の検討	・連携窓口みたかへの相談対応時の活用。 ・医療・介護資源データおよび通いの場をデータベースシステムで一元的に公開を予定する。
	・訪問診療等在宅医療の提供可能な医療機関の実態把握(医科、歯科、薬局)	・訪問診療(往診含む)医療機関の情報更新(随時)		
イ	・在宅医療・介護連携推進協議会及び検討部会による課題の抽出と対応策の検討		→ ・検討部会の再編等の検討	・協議会及び検討部会で課題抽出を継続。 ・2つの検討部会を課題別に5つの部会へ再編する。
検 課 在 討 題 宅 の 医 抽 療 出 ・ と 介 対 護 応 連 策 携 の	・地域包括ケア会議		→	・継続して出席した。
	・在宅ケア調整小委員会(医師会への委託事業)		→	・継続して出席した。

取り組むべき 8項目	平成29年度までの取組	平成30年度取組	令和元年度取組	令和元年度取組に対する評価と課題
ウ の切 提れ 供目 体の 制の ない の構 在在 宅宅 推医 進療 と介 護	・後方支援病床利用事業の開始	・事業周知、広報活動		・医師およびケアマネジャーに対し、個別やイベントにて周知を継続する。
		・利用登録医療機関の拡大		・24医療機関(R2. 3. 31) ・医師会新会員等に、説明を行い登録を促す。
		・関係者との意見交換	・利用情報収集シートを用いた、利用状況の詳細の収集、分析 ・意見交換(関係者の拡大)	・事業を検証し、適切な事業運営につなげる。
		・協力病院の拡大		・市内6病院中、特定機能病院を除いた5病院と協定の締結を行っている。
		・対象やルールの見直しの検討		要支援認定者について、ニーズの有無や利用対象拡大の必要性について検討していく。
エ	・三鷹武蔵野認知症連携(もの忘れ相談シート)	・認知症部会(仮称)の設置検討	(・認知症部会(仮称)の設置検討)	・認知症施策検討委員会を、在宅医療・介護連携推進協議会とは別に設置。
有医 の療 支・ 援介 護関 係者 の情 報共	・医師会HPによるケアマネタイムの掲載(医師会)			・掲載中。
	・ICT連携推進事業の検討・活用状況の把握(医師会)			
		・情報共有ツールの検討		・検討部会の一つで検討を開始する。
		・ICTを活用した情報連携の推進(医師会)		・検討部会の一つで検討を開始する。
		・三鷹市在宅療養ICT推進事業補助金の交付		継続して行う。

取り組むべき 8項目	平成29年度までの取組	平成30年度取組	令和元年度取組	令和元年度取組に対する評価と 課題
オ	・各地域包括支援センター(7箇所) による市民向け相談業務			実施中
す 介 在 る 護 宅 相 連 医 談 携 療 支 に ・ 援 関	・在宅医療・介護連携支援窓口(連 携窓口みたか)の設置	・連携窓口みたかの広報		・医療機関や介護事業所への訪問 や包括ニュース等を用いて行う。
		・相談対応の検証	・「連携窓口みたか」を中心とした チーム「連携窓口みたか」としての 協力体制の構築	・検討部会や各会議体の中で報告 検証を行い、チーム体制の構築を 進めた。
カ	・多職種連携WGによる研修			・継続して行った。
医 療 ・ 介 護 研 修 関 係 者 の	・地域ケア会議(医師会)			・継続して参加した。
	・医療・介護専門職を対象とした研 修の把握・分析	・病院向け研修会の実施		・3医療機関にて実施した。 令和2年度以降は、包括支援セン ターに実施を依頼。研修の把握に ついては、資源調査部会にて研修 の把握を行う。
	・ケア専門職交流会(ケアマネ交流 会)(各地域包括支援センター)			実施継続中

取り組むべき 8項目	平成29年度までの取組	平成30年度取組	令和元年度取組	令和元年度取組に対する評価と 課題
キ	・市民向け啓発パンフレット「わが 家・三鷹で暮らし続けるために」・ 「三鷹版覚え書きノート」の発行	・第2版の発行 →	→	第2版は令和2年度中に配布完了 予定。
普 地 及 域 啓 住 発 民 へ の	・市民啓発イベントの把握			
	・市民向けイベントでの「わが家・三 鷹で暮らし続けるために」、「三鷹版 覚え書きノート」配布	→	→	R元年度パンフレット1,650部、 ノート2,290部配布
	・多職種連携WGによる市民向け講 演会「在宅ケア知っ得情報」(平成2 7年度) ・「認知症にやさしいまち三鷹」との 合同啓発イベント「在宅医療・介護 連携フォーラム」の開催(平成28年 度)	・筋力測定会の実施	・市民向け啓発イベントの検討・実 施	「多職種交流会いろは」 「三鷹市医師会市民公開講座に て、「元気度測定会」を実施した。
ク	・近隣市連携相談支援窓口担当者 と情報交換会	→	→	「窓ンナの会」(近隣市連携相談支 援窓口担当者会)にて情報交換を 行った。
村 護 在 の 関 連 宅 連 係 携 医 携 市 に 療 区 関 ・ 町 す 介	・多摩府中保健所による近隣市情 報交換等	→	→	ケア会議にて実施した。
	・リハビリテーション実施機関名簿 のWEB化	→	→	継続して掲載中である。

2 三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会

平成 30 年 5 月 28 日から令和 2 年 5 月 28 日を任期とし、医療・介護・福祉・保健を専門とする方々に委員を務めていただいた。年間 3 回の「三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会」を実施し、具体的な課題検討の場である、2 つの検討部会からの活動報告や検討内容の確認、情報共有を行った。



【平成 30 年度】

	日程	時間	場所	検討議題
第 1 回	5 月 29 日	19 : 00 ～ 20 : 00	三鷹市公会堂 さんさん館 多目的会議室 A	委員委嘱・依頼、会長・副会長選出
				三鷹市在宅医療・介護連携推進事業について
				今後のスケジュールについて
第 2 回	11 月 21 日	19 : 00 ～ 21 : 00	元気創造プラザ 総合保健センター 多目的室 1・2	三鷹市在宅医療・介護連携推進事業について
				後方支援病床利用事業新規協力病院との協定の締結について
				認知症部会（仮称）の設置について
第 3 回	2 月 13 日	19 : 00 ～ 20 : 45	元気創造プラザ 総合保健センター 多目的室 1・2	平成 30 年度三鷹市在宅・医療介護連携推進事業の取り組みについて
				平成 31 年度三鷹市在宅医療・介護連携推進事業検討事項について
				認知症部会（仮称）の設置検討について

【令和元年度】

	日程	時間	場所	検討議題
第1回	5月20日	19:00 ～ 20:30	三鷹市役所 第2庁舎 242・243 号会議室	平成30年度三鷹市在宅医療・介護連携推進事業の取組報告
				令和元年度三鷹市在宅医療・介護連携推進事業の取組予定について
				後方支援病床利用事業における利用状況のデータ収集について
第2回	11月15日	19:00 ～ 20:30	三鷹市教育センター 第2中研修室	令和元年度三鷹市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告及び進捗状況の確認
				後方支援病床利用事業のデータ収集について
				令和2年度検討部会の再編案について
第3回	2月13日	19:00 ～ 20:30	教育センター 大研修室	令和元年度三鷹市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告及び進捗状況の確認
				後方支援病床利用事業の利用情報の収集について
				令和2年度三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会の開催について
				令和2年度検討部会の再編について



3 第1検討部会

第1検討部会では主に(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進、(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援、(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援について検討を行うため、「連携窓口みたか」への相談事例および、「後方支援病床利用事業」の利用実績の共有と検証から、両事業の課題抽出や課題解決を図った。また、医療・介護連携ツールについて、医療機関や介護事業所への啓発活動の必要性について検討した。

【平成30年度】

	日程	時間	場所	討議議題
第1回	4月23日	13:30 ～ 15:30	三鷹市役所 第3庁舎 311会議室	後方支援病床における移送手段について 平成30年度第1検討部会の討議内容について
第2回	5月21日	13:00 ～ 15:30	三鷹市役所 5階 152会議室	情報交換 後方支援病床における移送手段について 医療・介護連携ツールについて 平成30年度三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会について
第3回	5月29日	20:00 ～ 20:30	三鷹市公会堂 さんさん館 多目的室A	自己紹介 連絡事項 次回日程について
第4回	6月18日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 第3庁舎 314会議室	情報交換 医療・介護連携ツールについて 第2検討部会の報告
第5回	7月23日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 第3庁舎 314会議室	情報交換 第2検討部会の報告 医療・介護連携ツールとルールについて
第6回	9月3日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 第3庁舎 314会議室	情報交換 認知症に関する検討について 後方支援病床協力病院ヒアリングの報告 医療・介護連携ツールとルールについて
第7回	10月22日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 第3庁舎 314会議室	情報交換 認知症部会について 医療・介護連携ツールについて 次年度予算に係る事業内容について

第8回	11月19日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 5階 512会議室	情報交換 医療・介護の連携ツールについて MCSについて
第9回	12月17日	13:00 ～ 15:00	三鷹市役所 第2庁舎 242会議室	情報交換 第2回三鷹市在宅医療・介護連携推進協 議会の報告 「より良い連携」に向けた取組について MCSの検討について
第10回	1月28日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第3庁舎 312会議室	情報交換 連携窓口及び後方支援病床のケース検証 医療と介護の連携イメージについて
第11回	2月25日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第2庁舎 241会議室	情報交換 連携窓口の相談検証 後方支援病床利用事業の検証について 医療と介護の連携イメージについて
第12回	3月25日	13:00 ～ 14:30	三鷹市公会堂 さんさん館 K-1会議室	情報交換 医療・介護連携推進協議会で出された第 1検討部会での検討事項について 医療と介護の連携イメージについて

【令和元年度】

	日程	時間	場所	討議議題
第1回	4月15日	13:00 ～ 14:30	総合保健センター 多目的室1	情報交換 医療と介護の連携イメージについて 後方支援病床利用事業の検証方法について 検討部会の再編について
第2回	5月20日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第2庁舎 242会議室	情報交換 後方支援病床利用事業の検証方法について 検討部会の再編について
第3回	6月24日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第2庁舎 243会議室	情報交換 後方支援病床利用事業の検証方法について 検討部会の再編について
第4回	7月29日	13:00 ～ 14:30	さんさん館 K-1会議室	情報交換 後方支援病床利用事業の検証方法について 検討部会の再編について
第5回	8月26日	13:00 ～ 14:30	さんさん館 K-1会議室	情報交換 障がい者支援の事業、制度等について 検討部会の再編について
第6回	9月17日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第3庁舎 312会議室	情報交換 検討部会の再編について 後方支援病床利用事業の検証について
第7回	10月28日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第2庁舎 243会議室	情報交換 後方支援病床の評価シートについて 検討部会の再編について
第8回	11月18日	13:00 ～ 14:30	三鷹市役所 第2庁舎 242会議室	情報交換 後方支援病の評価シートについて 検討部会の再編について
第9回	12月16日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 311会議室	情報交換 検討部会再編について

第 10 回	1 月 20 日	13 : 15 ～ 14 : 45	三鷹市役所 第 2 庁舎 243 会議室	情報交換 資源情報公開のデータベースシステムについて 検討部会の再編について
第 11 回	2 月 17 日	13 : 15 ～ 14 : 45	さんさん館 K-1 会議室	情報交換 第 3 回三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会の報告 検討部会の再編について 資源調査及びシステム公開のスケジュールについて
第 12 回	3 月 16 日	13 : 15 ～ 14 : 45	三鷹市役所 第 3 庁舎 311 号会議室	情報交換 後方支援病床利用事業について 資源調査について

4 第2検討部会

主に（カ）医療・介護関係者の研修、（キ）地域住民への普及啓発を行うため、医療機関向け研修の計画と運営、市民向け啓発パンフレットの作成、イベントの企画と運営、市民参加イベントでの啓発活動を行った。

【平成30年度】

	日程	時間	場所	討議議題
第1回	5月8日	13:15 ～ 14:45	さんさん館 K-1会議室	平成30年度 市民啓発について 病院向け研修について
第2回	5月29日	20:00 ～ 20:30	さんさん館 多目的室A	自己紹介 情報交換 パンフレットの作成について
第3回	6月13日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 311会議室	情報交換 30年度参加予定イベントについて 市民啓発イベントについて パンフレットの作成について 医療職向け研修会について
第4回	7月11日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 312会議室	情報交換 市民啓発イベントについて 医療職向け研修会について パンフレットの作成について
第5回	9月12日	13:15 ～ 14:45	さんさん館 第1会議室	情報交換 筋力測定会について 医療職向け研修会について 研修の把握について
第6回	11月14日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 312会議室	情報交換 認知症部会（仮）について 医療職向け研修会について 研修の把握について
第7回	1月24日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 243会議室	情報交換 医療職向け研修会について 第3回三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会について
第8回	3月7日	13:15 ～ 14:45	さんさん館 K-3会議室	情報交換 医療職向け研修会について 医療介護連携のイメージの共有について

【令和元年度】

	日程	時間	場所	討議議題
第1回	5月16日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 211会議室	情報交換 令和元年度市民啓発について 医療職向け研修について 医療と介護の連携イメージの共有について 検討部会の再編について
第2回	6月27日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 243会議室	情報交換 医療職向け研修について 検討部会の再編について
第3回	8月1日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 211会議室	情報交換 医療職向け研修について 検討部会の再編について
第4回	9月25日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 243会議室	情報交換 医療職向け研修について 検討部会の再編について
第5回	10月23日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 211会議室	情報交換 医療職向け研修について
第6回	12月10日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第2庁舎 211会議室	情報交換 医療職向け研修について 市民啓発の取組について 検討部会の再編について
第7回	1月24日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 311会議室	情報交換 医療職向け研修について 市民啓発について 検討部会の再編について
第8回	3月23日	13:15 ～ 14:45	三鷹市役所 第3庁舎 311会議室	情報交換 医療職向け研修の実施報告 令和2年度病院向け研修について

5 連携窓口みたか

(1) 活動内容

在宅医療・介護連携推進協議会関係の会議の他、医療・介護連携に関わる会議や研修、交流会に出席した。多職種交流会やケア専門職交流会など多職種が集まる場で連携窓口の活動状況を報告し、関係者への活動周知を図った。

また、検討部会内で窓口の相談実績の検証を行い、相談対応の適正化を図るようにした。

(2) 相談実績

年度		平成 30 年度	令和元年度
合計件数		53	54
相談 内容 区分	後方支援病床関係	19	17
	在宅支援、サービスについて	21	17
	入退院、転院について	2	5
	その他	11	15
相談者 内訳	医療機関	12	10
	薬剤師	1	0
	ケアマネジャー	24	23
	訪問看護ステーション	2	2
	地域包括支援センター	5	7
	行政	2	2
	市民	4	6
	その他	3	4

(3) 相談内容（平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月の内容より抜粋）

相談内容区分	相談内容
後方支援病床関係	・担当している方の後方支援病床が利用できるか。（ケアマネジャー） ・後方支援病床利用事業の流れと登録医を知りたい。（ケアマネジャー） ・後方支援病床の定期的な予約と利用が可能か。（ケアマネジャー） ・後方支援病床の空き状況が分かるか。（保健所保健師） ・後方支援病床での治療内容はどんなことか。（地域包括支援センター）
在宅支援、サービスについて	・尿道カテーテルが入っている方を受け入れるショートステイ先があるか。（訪問診療クリニック事務） ・外来通院患者を介護保険につなげられないか。（クリニック事務） ・ある難病の方の在宅サービスとしてどんなことが考えられるか。（ケアマネジャー） ・自費の生活支援サービスを提供する事業所の情報を知りたい。（サ高住相談員） ・精神障がいの方が通院治療できる、住所地に近い歯科診療所の情報（障がい者支援課職員）
入退院、転院について	・がん末期患者が在宅に移行するに当たり、利用できる地域の訪問診療や訪問看護の情報が知りたい。（病院看護師） ・精神科の病院に転院した難病の方の今後の相談先（ケアマネジャー） ・老健に入所中の母親の足が腫れ入院治療したい。どこの病院の何科がよいのか。（市民） ・他県の病院に入院している家族の転院先の相談（市民） ・入院中の終末期の母親を家に連れて帰りたいが、家に連れて帰ることが一番いい状態か専門家に決めてほしい。（市民）
その他	・精神疾患がある 40 代患者の経済的な相談先について（クリニック医師） ・三鷹の看護小規模多機能型居宅介護を見学したい。（病院看護師） ・ケアマネジャーとの関係に苦慮している。（訪問看護師） ・排便コントロールがうまくできず家族も困っている。具体的にどんな手立てがあるか。（ケアマネジャー） ・口腔機能のアセスメントシートに関する情報があるか。（地域包括支援センター）

6 在宅療養者の後方支援病床利用事業

(1) 協定の締結

平成 29 年 10 月 6 日に協定を締結した
3 病院に加え、平成 31 年 2 月 14 日に
井之頭病院、長谷川病院の 2 病院とも協定
を締結し、協力体制を 5 病院に拡充した。



No.	病院名	所在地	担当部署 (連絡先)	協定署名者		協定締結 日
				役職	氏名	
1	医療法人財団 慈生会 野村病院	三鷹市下連雀 8-3-6	地域連携室	理事長	野村 幸史	H29. 10. 6
2	医療法人社団 永寿会 三鷹中央病院	三鷹市上連雀 5-23-10	地域連携室	院長	吉田 正一	H29. 10. 6
3	医療法人財団 紘友会 三鷹病院	三鷹市下連雀 5-1-12	地域医療連 携室・相談 室	院長	大垣 憲隆	H29. 10. 6
4	公益財団法人 井之頭病院	三鷹市上連雀 4-14-1	① 相談室 または ② 地域連 携室	院長	菊池 健	H31. 2. 14
5	医療法人社団 碧水会 長谷川病院	三鷹市大沢 2-20-36	地域医療連 携室入院相 談窓口	院長	吉永 陽子	H31. 2. 14

(2) 登録医療機関

令和 2 年 3 月 31 日現在の利用登録医療機関数は市内 22 医療機関、市外 4 医療機関、計 26 医療機関。（うち 1 機関は閉院のため実質 25 機関）

(3) 利用実績

【利用件数】

	申込数	利用件数	キャンセル	利用待ち
平成 29 年度	17	15	2	0
平成 30 年度	48	40	7	1
令和元年度	51	44	7	1

（年度をまたぐ案件があるため、年度ごとの申込数と利用件数は一致しない）

【協力病院別利用件数】

	野村病院	三鷹中央 病院	三鷹病院	井之頭病院	長谷川病院
平成 29 年度	8	7	0		
平成 30 年度	20	17	3	0	0
令和元年度	19	22	1	2	0

【医療機関別、事業所別利用件数】

	医療機関	事業所
平成 29 年度	16 機関中 7	13
平成 30 年度	22 機関中 12	20
令和元年度	25 機関中 13	22

【利用目的別 複数回答あり】

	家族介護者 支援	準救急	身体状況の 評価	看取り	その他
平成 29 年度	13	0	3	0	2
平成 30 年度	31	3	2	0	12
令和元年度	41	1	3	1	6

【入院日数】

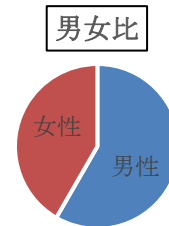
	1～7 日	8～13 日	14 日	14 日以上
平成 29 年度	8	6	1	0
平成 30 年度	13	11	11	5
令和元年度	18	8	14	4

(4) 利用者の属性（平成 30～令和元年度）

（介護度、診断名など項目に沿って把握したのは 30 年度から）

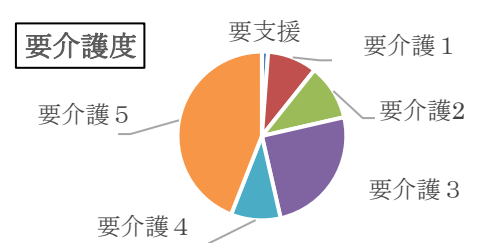
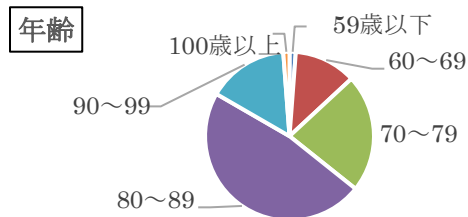
【性別】

	男性	女性	年度計
平成 30 年度	23	17	40
令和元年度	26	18	44
計	49	35	84



【年齢】

	59 歳以下	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100 歳以上	計
平成 30 年度	0	7	6	22	4	1	40
令和元年度	1	3	13	18	9	0	44
計	1	10	19	40	13	1	84

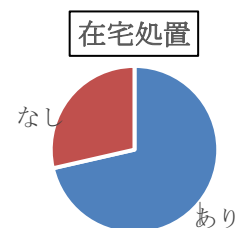


【要介護度】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	年度計
平成 30 年度	0	0	3	7	8	4	18	40
令和元年度	1	0	5	2	13	4	19	44
計	1	0	8	9	21	8	37	84

【在宅処置】

	あり	なし	計
平成 30 年度	29	11	40
令和元年度	31	13	44
計	60	24	84



(5) 事業の検証

後方支援病床利用事業の円滑な運営につなげていくことを目的に、令和元年度から利用者本人や家族、ケアマネジャー、かかりつけ医、協力病院それぞれの立場での目的達成度や利用満足度を個別にヒアリングし、事業検証を行っている。

7 市民啓発

(1) 市民向け啓発事業「加齢に負けない！伸ばそう健康寿命！筋力測定会」

時期	時間	場所	内容
平成 30 年 9 月 1 日 (土)	12 : 00 ～ 14 : 00	三鷹産業 プラザ 701 号室	血圧、握力、ファンクショナルリーチ、膝伸展筋力、足指チェッカー、ザリッツによる測定及び結果のフィードバック



市民の方々に在宅医療・介護について知っていただくため、「加齢に負けない！伸ばそう健康寿命！筋力測定会」を三鷹市リハビリテーション協議会（通称 POST の会）の協力のもと、9月1日（土）に開催した。当日は 129 人の参加があった。

測定会に参加した方にアンケートを実施し、83 人が測定会に満足と回答した。アンケートからは、「くも膜下出血で弱まった筋力を知りたくて参加した。生活アドバイスをもらえたので、これからの生活に役立つと思う」、「親切に指導してもらい、楽しく測定ができた。今後、毎日気を付けて生活していく」と、多くの好意的な意見が寄せられた。

今後も筋力測定会のような自身の体力、知力を維持し、自立した生活を続けるうえで役立つ講座を希望する方が多く、また、自身に介護が必要になったとき、どこで暮らしたいですかという質問には「今の自宅」と答えた方が多く、在宅医療・介護への関心が高いことが分かった。

(2) 啓発用パンフレットの作成

啓発パンフレット「わが家・三鷹で暮らし続けるために」は、第 2 版として、平成 30 年 8 月に 15,000 部増刷し、要介護認定を受けた高齢者が、様々な在宅サービスを導入して、在宅での生活に戻るまで多くの専門職が関わっていることを分かりやすく伝えている。

変更点としては、「訪問薬局」の標記の変更や、「在宅医療」を「訪問で受けられる医療」とし、分かりやすい表現にした。また、高齢者が介護や医療が必要になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの推進の図を、植木鉢モデルにして掲載した。

その他、三鷹市医師会、歯科医師会、薬剤師会のホームページの案内や、東京都の医療機関や薬局の案内サービスの情報、救急時の医療機関の案内を「知っててよかったお役立ち情報」にまとめて、見やすくした。

(3) 配布

ア 三鷹市医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめ、地域包括支援センター、介護保険事業所や市内関係機関にパンフレット及び覚え書きノートの配布依頼を行った。複数の医療機関や介護事業者より追加配布の希望があった。

また、ホームページや関係機関の機関誌に掲載して周知を図るとともに、高齢者が関わる機関（町内会、ボランティア等）を通じて、市民に配布し啓発を行った。

イ 市民が集まる市内イベントにて、直接パンフレット及び覚え書きノートの配布を行った。医療や介護に関心の高い市民が参加するもの、高齢者が参加するもののほか、子育て世代など、在宅医療や介護にまだ興味は薄い介護保険料の徴収が始まった世代に、自身の親の介護について考え始めるきっかけとなるよう、小さな子どもたちが多く参加するようなイベントにも参加した。手に取ってもらいやすいように、啓発用のプリントをしたウェットティッシュも併せて配布した。

ウ 各地域包括支援センターにおいて「老い支度」や「終活」などをテーマにした地域住民向けセミナーにて活用してもらい、周知を図った。



【配布先】

(平成 30 年度～令和元年度)

区分	配布先	パンフレット	ノート
医療機関	病院、クリニック、診療所等	555	515
地域包括支援センター	7 包括	8050	770
介護保険事業所	約 150 事業所	100	150
市役所及び関係機関		730	435
その他	町内会、ボランティア、研修・見学等	820	645

【イベント】

(平成 30 年度)

日程	イベント名	パンフレット	ノート
6 月 9 日	愛歯のつどい	100	100
7 月 14、15 日	商工祭り	400	400
9 月 1 日	筋力測定会 医師会市民公開講座	200	200
9 月 15、16 日	敬老のつどい	5	100
10 月 7 日	ケンコウデスカデー	200	200
11 月 5～9 日	介護フェスタ	40	40
11 月 10 日	農業祭	200	200
11 月 17 日	認知症にやさしいまち三鷹	20	40

(令和元年度)

日程	イベント名	パンフレット	ノート
6 月 8 日	愛歯のつどい	100	100
7 月 13、14 日	商工祭り	400	400
9 月 7 日	医師会市民公開講座	350	350
9 月 14、15 日	敬老のつどい	35	60
10 月 8 日	ケンコウデスカデー ※台風 19 号の影響で中止	—	—
10 月 26 日	認知症にやさしいまち三鷹	50	50
11 月 9 日	農業祭	200	200

8 医療機関向け研修

(1) 医療機関向け研修

三鷹市における、在宅医療及び在宅介護について、医療機関の方に知っていただくことで、退院支援の際に、在宅を選択肢として「在宅療養」を提示していただくことや、入退院時の情報共有等の連携の一層の深化及び強化のため、市内医療機関向け研修を実施した。

<平成 30 年度>

医療法人財団紘友会三鷹病院にて、2 回実施した。

病院名	三鷹病院	
日時	平成 31 年 2 月 6 日 (水) 13 : 30 ~ 14 : 00	平成 31 年 2 月 27 日 (水) 13 : 30 ~ 14 : 00
場所	三鷹病院 2 階食堂	三鷹病院 2 階食堂
テーマ	地域包括支援センターとは	後方支援病床利用事業
参加者数	38 人	26 人
講師	地域包括支援センター看護師	高齢者支援課連携窓口みとか担当
意見・質問 (抜粋)	・病院薬剤師として、連携作業の必要性を教えてほしい。 ・外来にも相談したいと思った患者が来たことがあり、その際対応がとても心強く、連携の必要性を感じました。 ・院内だけで処理ができないケースを相談しやすくなった。道が開けた気がします。 ・病院の性質上、連携は不可欠だと思う。 ・今後、連携がないといろいろな成り立たないと思われるので、その連携のキーステーションとして地域包括センターが重要と考えられる。 ・包括センターに外来から連絡していいと分かり安心した。	・高齢社会が進み、在宅療養者が増加しているため、このような事業はとても大切であり、今後利用される方が増えると思う。 ・三鷹市民以外（例えば、三鷹市に住民票はあるが、他市に居住の人）も利用できますか。 ・在宅で看ることができる、いろいろなサービスを知る機会となった。 ・もっとじっくり話が聞きたいので、また開催していただきたい。

<令和元年度>

平成 30 年度に引き続き、医療法人財団三鷹紘友会三鷹病院及び、新たに、医療法人財団慈生会野村病院、医療法人社団永寿会三鷹中央病院でも実施した。

病院名	三鷹病院
日時	令和元年 11 月 27 日（水）13：30～14：00
テーマ	成年後見人制度の理解と権利擁護センターの役割
参加者数	30 人
講師	三鷹市社会福祉協議会 権利擁護センターみたか 高橋 圭一氏
意見・質問 （抜粋）	・三鷹市では、いろいろな窓口でサポートする体制が整っているのだと、心強く思った。今後ますます成年後見制度を利用する方が増えると思うので、今回の研修は参考になった。 ・権利擁護センターについて初めて知ったので、ためになった。事例を挙げてもらえたら、もう少し分かり易いのではないかと思った。 ・制度の有効活用ができるよう、少しずつ知識を深めていきたいと思う。 ・三鷹市での様々な取組を知ることができる良い研修だった。在宅へ向かう今後を考えると、これからも必要な支援だと思った。

病院名	野村病院
日時	第 1 回 令和元年 12 月 5 日（木）13：30～14：00 第 2 回 令和元年 12 月 12 日（木）13：30～14：00 （同テーマ同内容にて 2 回実施した。）
テーマ	三鷹市在宅医療・介護連携推進事業、三鷹市在宅療養後方支援病床利用事業について
参加者数	25 人
講師	三鷹市高齢者支援課 連携窓口みたか担当 温泉川 千里氏
意見・質問 （抜粋）	・本事業の市の動き、野村病院の役割を知り、地域包括ケアの一部を学ぶことができ、大変参考になった。 ・予防医学と在宅は、なかなか結びつけ難いが、在宅地域の中と予防医学が含まれる点で幅広い全体をみる必要があると思った。 ・事業について具体的な内容を知ることができて良かった。そのことで、自分達(医療職)の役割を改めて認識することができた。 ・後方支援病床について、なぜ野村病院なのかという疑問が現場から聞こえていたが、今回の研修で少し現場の看護師にわかってもらえたと思う。また今後もこのような研修をお願いしたい。

病院名	三鷹中央病院
日時	令和元年 11 月 27 日（木）18：00～19：30
テーマ	地域包括支援センターについて
参加者数	32 人
講師	三鷹市西部地域包括支援センター 後藤 佳子氏 三鷹市大沢地域包括支援センター 小神 瞳氏
意見・質問 （抜粋）	・地域包括支援センターの役割を詳しく知ることができた。 ・サマリーを訪問看護宛に書くが、ケアマネジャーも欲しいということで書くようにしている。半面、在宅からの情報がもらえないことが多く、入院時に訪問看護の情報もなかなかもらえないことがある。在宅に帰って大丈夫かどうか、入院前の生活がどうだったのか、在宅の情報も届けてほしい。 ・介護度によってどのようなサービスが受けられるのかなど、例があつてわかりやすかった。また、入院後にケアマネジャーと連絡を取るタイミングや必要な情報について知りたい。

第 2 検討部会委員及び地域包括支援センター職員等で実施した。参加した職員からも、「どの病院も熱意があり、活発な様子だった。業務に関する制度やサービス等の理解を深めるため、今後も継続して研修を実施できると良い。」「今まで、病院の職員と直接話をする機会はなかった。病院の中に入り、直接職員さんの思いや考えを聞いたことは今後の連携に役立つと思う。」との感想が聞かれており、研修を実施した側のメンバーからも連携の深化へとつながっている意見が出ている。また、研修テーマは、それぞれの病院にヒアリングを行い、「研修で学びたいテーマ」を定めていった。「他ではなかなかやっていない研修テーマであり、それでいて必要な知識なので、今回の講習をいろいろな機会にも広げて行けたらと感じた。」との感想をいただいている。

(2) 在宅ケアを支える多職種交流会

【平成30年度】

日程	時間	場所	人数	内容
8月28日	19:00 ～ 21:30	公会堂 さんさん館	128人	「多職種連携のいろは」～施設の役割と連携の仕方を学ぶ～をテーマに高齢者向け施設（「老人保健施設」、「都市型軽費老人ホーム・ケアハウス」、「特別養護老人ホーム」、「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅紹介業」の方々を講師とし、各施設の役割や特色、法改正による動きなどを学んだ。
3月12日	19:00 ～ 21:00	公会堂 さんさん館	116人	『多職種連携のいろは』～施設や関係機関の役割を知る～をテーマに、今まで開催したブースの中から、特に反響の大きかった「老人保健施設」、「地域包括支援センター」、「ケアマネジャー」を再度開催した。前回聞けなかった話が聞けた、2回聞いて理解が深まった等の感想があった。また、「連携窓口みたか」の実績報告を行い、より活発な利用を促した。



【令和元年度】

日程	時間	場所	人数	内容
8月27日	19:00 ～ 21:30	公会堂 さんさん館	119人	「多職種連携のいろは」～看取り場面を振り返って～をテーマに、医師、訪問看護師、ケアマネジャー、訪問介護士、緩和ケア看護師の5名の発表者の看取りの体験を共有した後、16のグループに分かれ、意見交換を行いました。 「看取りについて前向きな考え、貴重な体験を聞くことができた。」との感想があった。
3月13日	新型コロナウイルス感染症拡大により、中止。			「多職種連携のいろは」～看取り場面の揺れに向き合う～をテーマに架空ケースを用いたグループワークを予定していた。

中止となったテーマについては、令和2年度に開催していく予定である。



三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会委員

(任期：平成 30 年 5 月 28 日～令和 2 年 5 月 28 日まで)

氏名	所属	選任区分	特記
宇井 義典	三鷹市医師会会長	地域医療	三鷹市在宅・医療介護連携推進協議会会長
野村 幸史	野村病院理事長	病院関係者	
吉田 正一	三鷹中央病院院長	病院関係者	
神崎 恒一	杏林大学医学部 高齢医学教授	学識経験者	
中澤 敏	東京都三鷹市歯科医師 会会長	地域医療	
杉山 一延	三鷹市薬剤師会会長	地域医療	
家崎 芳恵	三鷹市介護保険事業者 連絡協議会会長	介護保険	三鷹市在宅・医療介護連携推進協議会副会長
佐野 光昭	三鷹市社会福祉協議会 常務理事	社会福祉	平成 31 年 3 月 31 日まで
岡本 弘	三鷹市社会福祉協議会 常務理事	社会福祉	平成 31 年 4 月 1 日から
中川 昌弘	東部地域包括支援セン ター管理者	地域包括支援セン ター	
日高 津多子	東京都多摩府中保健所 地域保健推進担当課長	行政関係	
小嶋 義晃	三鷹市健康福祉部長	行政関係	

(順不同、敬称略)

三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会 検討部会委員名簿

(任期：平成 30 年 5 月 28 日～令和 2 年 5 月 28 日まで)

第 1 検討部会委員

氏名	所属	選任区分	特記
窪川 良廣	くぼかわ内科医院	医療関係者	
高橋 壮芳	三鷹あゆみクリニック	医療関係者	
松崎 誠	松崎歯科医院	医療関係者	
有村 さゆり	杏林大学医学部付属病院患者支援センター	医療関係者	
渡邊 美香	アズマ訪問看護ステーション三鷹	介護関係者	令和元年 6 月 30 日まで
山崎 亜弓	ふれあい訪問看護ステーション	介護関係者	令和元年 7 月 29 日から
柳本 文貴	NPO 法人 グレースケア機構	介護関係者	
逸見 良子	居宅介護支援事業所菜の花	介護関係者	
服部 将志	西部地域包括支援センター	地域包括支援センター	
池川 明美	駅周辺地域包括支援センター	地域包括支援センター	

第2 検討部会委員

氏名	所属	選任区分	特記
古川 秋生	山本医院	医療関係者	
伊藤 百合子	三鷹薬局	医療関係者	
真下 千奈津	あじさい居宅介護支援事業所	介護関係者	
吉田 洋之	(株)ビアン もえぎ三鷹上連雀	介護関係者	
船越 昌司	パナソニックエイジフリーショッ プ武蔵野	介護関係者	
麻生 喜美江	井の頭地域包括支援センター	地域包括支 援センター	
三浦 友美恵	新川・中原地域包括支援センター	地域包括支 援センター	

(順不同、敬称略)